



乙訓の文化遺産を守る会の会員が日頃の研究成果を披露した歴史文化教室(向日市寺戸町・市民会館)

鶏冠井の地名と 姓名の関連披露

向日で教室

乙訓の文化遺産を守る会

歴史文化教室では従来、プロの研究者を招いた講演会を企画してきたが、会員それぞれが関心のあるテーマの学習を重ねていることから、今回は初の試みとして会員の学習成果発表の場とした。

乙訓の文化遺産を守る会主催の歴史文化教室「ふるさと乙訓の歴史をまなぼう」が22日、向日市寺戸町の市民会館で開かれた。同会の会員たちが歴史ファン約20人を前に、乙訓地域の地名と姓の関連など独自の研究成果を披

乙訓の地名と姓についての発表では、向日市鶏冠井(かいで)町と江戸初期に活躍した俳諧師の鶏冠井(かえでい)令徳、伊賀上野の楓井(かいで・かえでい)氏との関係が説明された。東京都あきる野市にある「乙訓」

姓、「乙津」姓など乙訓地域の関連を調べた成果も報告され、参加者が興味深げに聞き入った。

また、安徳天皇の秘話や江戸期から明治期の愛宕山に関する研究成果も発表された。

(大西保彦)